

# 台湾合宿記

## 初めての海外旅行を通じて

外国語学部 中国語学科3年 内田 佳澄

私は、2024年9月15日から9月18日までゼミ合宿で台湾に行きました。今回は、台湾での経験について述べたいと思います。

まず、今回の合宿で訪れた場所は、台湾の首都である台北市です。台北市には、台北101や中華民国総統府（旧・台湾総督府）といった有名な建物がいくつもあります。空港が2つあり、この合宿では、松山空港に着陸しました。

初めての海外旅行に戸惑いと不安が入り混じりながらも、両替を済ませて空港から出たときのわくわく感はとても新鮮でした。タクシーでホテルに向かう途中、目に入ったバナソニックの看板は、異国情緒よりも困惑を招きました。その後、荷物を置いて台北市内を散策しましたが、セブンイレブンやファミリーマート、ユニクロ、マクドナルド、三越と、見覚えのあるものがたくさんありました。一方、新鮮に感じる部分もたくさんありました。コンビニでは、茶葉蛋という八角で煮込まれたゆで卵がホットスナックとして売られており、周辺が常に八角の甘い香りに包まれています。私はこの香りが苦手で、コンビニにあまり入りたくありませんでした。また、当然のことなが

ら、台湾と日本では通貨の単位が異なります。物価も違うため、最初は台湾ドルの値札が日本円に見えてしまい、混乱しました。地下鉄の椅子はプラスチックのような素材でできており、ふかふかの椅子が置いてある日本とのギャップを感じました。

2日目は、現地の大学生と交流しました。この日、私たちは輔仁大学を訪れました。学内はカトリック系の大学らしく、西洋風で歴史を感じられる作りになっていました。台北から少し離れた場所にあり、授業後は、学生と共に周辺の町を散策しました。ここは、台北とは違って古い建物が多く、屋根の下を歩くと、水滴が落ちてきます。パークもたくさんあって、まさにアジアの街並みでした。途中、夕飯の少し前という時間帯に、ごみ収集車が現れたので、とても驚きました。その後、学生とゼミ生で夕食を食べました。

3日目は、2日目に出会った学生達と九份、十份に行きました。初日から感じていたことではあるのですが、台湾の車は、運転が少し荒く感じました。九份は、外国人観光客で混雑していました。あるお茶屋さんでは、日本語が上手な店員さんが

おり、とても丁寧に対応していただきました。途中、中国人の家族連れと出会い、写真を撮ってあげたら、とても喜んでもらえました。十份に移動してランタンを飛ばした後は、夜市に行きました。夜市で牛串を買うときも、店員さんはとても親切で、おすすめを教えてくださいました。夜市で食べたパイヤミルクと牛串はとてもおいしかったです。

最終日は台北101に行きました。店内は、世界的に有名なブランドのお店が多く、見覚えのあるラインナップでした。地下にはスーパーや飲食店があり、鼎泰豊でお昼を食べました。小籠包はもちもちの皮にスープがたっぷり入っていて、口に入れても熱すぎない温度になっていました。この小籠包にとっても感動してしまい、今では好きな中華料理の一つになりました。

今回の合宿で、私は海外旅行の楽しみを味わうことができました。元々海外旅行に興味はあったのですが、様々な事情が重なり、なかなか行けずにいました。実際に海外に行ってみると、行く前に抱いていた不安は意外とどうにかなることを実感できました。これは、自分にとってとても大き

な成長だと感じています。限られた時間ではありましたが、この合宿は、大学生活の中で貴重な経験になりました。



夜市の牛串



台北101



鼎泰豊の  
小籠包